

取扱説明書

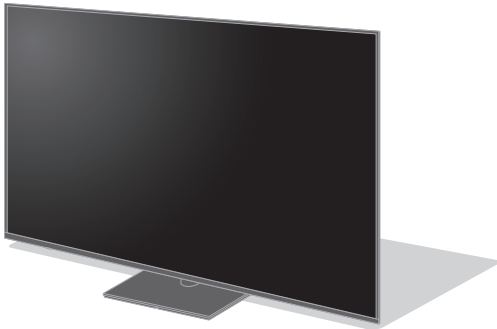
4K 液晶テレビ

品番

TH-75LX950 (75V 型)

TH-65LX950 (65V 型)

TH-55LX950 (55V 型)



(TH-75LX950)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」と内蔵の「ビエラ操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機に内蔵の「ビエラ操作ガイド」をご覧ください。

テレビの画面上で、本機の特長や設定・操作などの情報を見ることができます。 ➡ 2

保証書別添付

ご使用前に
必ずお読みください

➡ 3～7 ページ

ご安全上
の
注意

設置や接続は >

準
備

初期設定や
基本の操作は >

設
定
・
使
い
方

故障かな!?や
取り扱いに
ついては >
English Guide

必
要
な
と
き



目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください → 3～7 ページ

はじめに	8
●本機で受信できる放送	8
●当社ホームページとサポートサイトの ご案内	8
準備	
付属品・別売品	9
本機の設定	10
壁掛け金具の設定 (別売品)	16
接続	17
●端子部について	17
●テレビ放送を受信する (地上デジタル/ BS4K・110度CS4K放送など)	18
●映像/オーディオ機器と接続する	20
●USB 機器と接続する	22
●ネットワーク/ネットワーク機器と 接続する	23
●電源コードの接続	24
●リモコンの登録 (ペアリング)	24
●Bluetooth® 機器の登録について	24
設定・使い方	
各部の名称と働き	25
●テレビ本体	25
●リモコン	26
設置設定	28
●かんたん設置設定	28
テレビを見る	30
●テレビ放送を見る	30
●音声操作について	30
必要なとき	
商標などについて	31
故障かな!?	32
取り扱いについて	35
English Guide	39
仕様	41
保証とアフターサービス	43



ビエラ操作ガイドについて

本機は「ビエラ操作ガイド」(電子説明書)を内蔵しています。テレビの画面上で、設定や操作、解説などの情報を見ることができます。

●本書では、「ビエラ操作ガイド」を“ガイド”と簡略して表記しています。


ビエラ操作ガイドを表示する

(1)  を押す


(2)  を押して、 を選び、 を押す


 を押すとガイドの詳細な使い方が表示されます。



●目的から説明ページを検索する

「目的から探す」を選び、 を押す

●キーワードから説明ページを検索する


(1)「キーワードから探す」を選び、 を押す


(2)検索したいキーワードを入力(確定)し、 を押す

●文字入力についてはガイドの「文字を入力する」( を押し、 目的から探す > いろいろな機能 > 文字入力について)をご確認ください。

●困ったときは / よくあるご質問 / English Guide

本機をご使用中にトラブルが発生したときにご覧ください。また、本書の「故障かな!?’(→32～34)も併せてご覧ください。


● を押すとガイドは終了します。

●本書では、ビエラ操作ガイドのアイコンを  で示しています。

●本書のイラストなどはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

●本書の説明イラストは、TH-75LX950を元に作成しています。(品番を指定していないとき)


●本書では、参照いただくページを (→○○) で示しています。


●本書では、リモコンの  を押しingいただく操作を→で示しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご安全上の注意

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならぬ内容です。

 気をつけていただく内容です。

**警告**

異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、はさむ など)



傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で使用・放置しない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない



取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

単4形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機の上に液体の入った容器などを置かない



液体が内部に入ると火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

風呂場などで使用しない



火災・感電の原因になります。

水場使用禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナケーブルに触れない



感電の原因になります。

接触禁止

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れない

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

不安定な場所に置かない



落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因になることがあります。

特にお子様に対する多くの傷害は、以下のような予防措置をとることで回避できます。

使用中の本機をそのまま使い続けるか、または再配置する場合も、同様に以下の予防措置をとってください。

- 付属のスタンドをご使用ください。
- 台を使用する場合は、ぐらつきがない堅固なものをご使用ください。また、スタンド設置面は平らで十分に強度があることをご確認ください。
- 台を使用する場合は、本機が台の端からはみ出さないように設置してください。
- 適切な設置場所に本機と台の両方を固定することなく、背の高い台（食器棚や書棚など）に本機を置かないでください。
- 本機と設置する台との間には、布または他の材質のものを敷かないでください。
- 本機または本機背面の音量ボタンやチャンネルボタンなどを触れるために、台の上によじ登ることの危険性をお子様にご教育してください。

壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。

- 指定の取り付け金具をご使用ください。

病院内や医療用電気機器のある場所で、無線機能を使用しない

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで、無線機能を使用しない



本体やリモコンからの電波が医療用電気機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本体やリモコンを装着部から 15 cm 以上離す



本体やリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

通風孔をふさがない

放熱を妨げない



内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 本機の上面、左右、後面は 10 cm 以上の間隔をおいて据え付けてください。
- スタンド使用時は、本機の下面と床面との空間をふさがないでください。
- 風通しの悪い所で使用しないでください。
- おおむけや、横倒し、逆さまにして使用しないでください。

強い力や衝撃を加えない



画面のガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かない



火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に物を置かない、乗らない、ぶら下からない



倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。

接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない



火災・感電の原因になることがあります。

移動させる前に接続ケーブルなどを外す（電源プラグ、アンテナケーブル、機器間の接続ケーブルや転倒・落下防止部品）



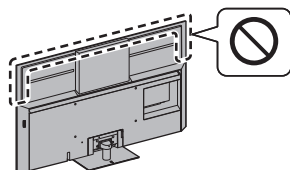
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っ掛けたりしないように処理を行う



火災・感電・けがの原因になることがあります。

運搬や移動をするときは、下図で示すところを保持しない



製品の故障や破損の原因になることがあります。

- 正しい持ちかたは (→11)

注意

付属のスタンドは、本機以外には使用しない
けがの原因になることがあります。



付属のスタンドは、指定の手順以外で組み立てない、取り外さない

倒れてけがの原因になることがあります。(→10～15)



付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する(→13)

ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止める

転倒・落下によるけがの原因になることがあります。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



開梱や持ち運びは2人以上で行う

落下してけがの原因になることがあります。



アンテナ工事は、販売店に相談する



アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。
- BS、CS 放送受信用のアンテナは、強風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けてください。

通風孔に付着したゴミをこまめに取り除く



長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

- 湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼・費用については、販売店または、相談窓口までご相談ください。(→43)

(工事専門業者様へ)

壁掛け設置のための取り付け金具を使用するときは、施工説明書に従って取り付ける



落下してけがの原因になることがあります。

はじめに

取扱説明書（本書）は、安全上のご注意や本機の設置・接続・初期設定など基本的な操作を説明しています。設定や操作方法については内蔵の「ビエラ操作ガイド」をご覧ください。（→2）

●本書は2022年1月現在の情報に基づいて作成しています。

本機で受信できる放送

BS4K・110度CS4K放送

- 従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波で放送される4K放送とBS・110度CSの左旋円偏波の電波で放送される4K放送があります。
- 4K放送はハイビジョンの4倍の画素数を持つ、高精細かつ臨場感のある映像を再現することができます。
- 本機では8K放送は受信できません。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機ではワンセグ放送は受信できません。

衛星（BS・110度CS）放送

●BS デジタル放送

ブロードキャスティング サテライト
放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

WOWOW（ワウワウ）やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

●110度CS デジタル放送

コミュニケーションズ サテライト
通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。

110度CS デジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。

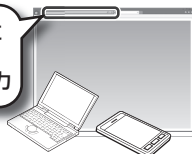
ケーブルテレビ（CATV）

- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機の商品情報や本機を使用していただくための情報を掲載しています。

ブラウザのアドレスバーに
Viera.jp と入力



お持ちのパソコンまたはスマートフォンからご覧ください。



スマートフォンの場合は、左記のQRコードからもご覧いただけます。

当社ホームページ内のサポートサイトでは以下の情報を掲載しています。

- よくあるご質問：困ったときはこちらをご確認ください。
- 動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書やビエラ操作ガイド：pdf形式のデータをダウンロードできます。など

サポートサイトは以下のアドレスからも確認いただけます。

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>



ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

付属品・別売品

付属品

() は個数です。

リモコン (1)

品番：N2QBYA000055

(→26)



単4形マンガン乾電池 (2)

(→右記)



取扱説明書 (1)



組み立て部品 (一式)

(→10)

転倒・落下防止部品 (一式)

(→13)

TH-75LX950

壁掛け用ねじ (4)

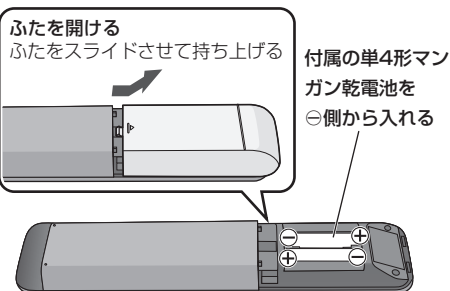
黒 M8×20

(→10、16)



- 本機は従来の B-CAS カードに代わり、「ACAS チップ」を内蔵しています。(→29)
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- ご相談、お問い合わせの際は、お客様のテレビの品番(本書の表紙に記載の TH- ○○○○)をお伝えください。
- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※電源コードによって、電源コードキャップがない場合があります。

リモコンに電池を入れる



リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順で閉じてください。

- ⊕⊖を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 不要となった電池は、お住まいの市区町村の指示に従って対処してください。電極にはテープを貼り絶縁してください。
- リモコンをテレビ本体に登録する方法については(→24)

別売品

別売品については、お買い上げの販売店へご相談ください。

壁掛け金具

本機を壁掛け設置するときに使用します。(→16)

接続ケーブル・コード

本機と外部機器を接続するときに使用します。(→17～24)

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>



準備

付属品・別売品

本機の設置

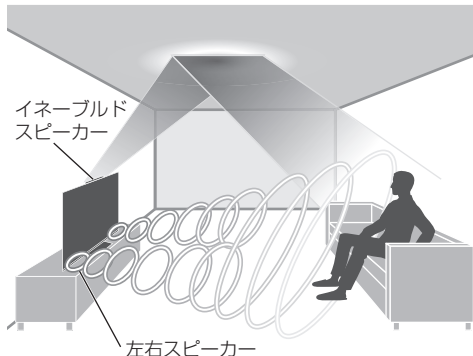
本機の設置環境について

本機は「Space Tune」を使った音質調整により、設置環境・視聴ポジションに合わせて最適な音空間に調整することができます。天井の反射を利用するインネーブルドスピーカーと左右スピーカーにより、立体的な音響空間をお楽しみいただけます。本機の設置や外部機器と接続したあとに、初めて電源を入れると「かんたん設置設定」(→28)画面が表示されますので、画面の指示に従って設定を行ってください。

Space Tune の設定は、再生したテストトーンをリモコンの音声操作マイクを使って測定・解析し、自動的に調整を行う「Space Tune Auto」と、本機の設置状況を入力して音質の調整を行う「プリセット調整」があります。

- 「Space Tune Auto」で設定するときは、測定中に大きな音（テストトーン）が出ます。
- 本機に内蔵のスピーカー音のみ効果があります。
- 本機の設置環境によって、効果は異なります。

< 設置例 (イメージ図) >



スタンドの取り付け

本項目をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

- 長さが 12 cm 以上 (グリップ部を除く) のプラスドライバー (市販品) をご用意ください。
- ねじは、まっすぐに締めてください。ねじを斜めに締めると、ねじ山が破損するおそれがあります。
- スタンドを取り付けたあとに、必ず転倒・落下防止処置をしてください。(→13)

- 本機の品番と製造番号は、本体下部右側の背面に表示しています。(→25)

お問い合わせの際に必要な場合があります。

取り付けは、必ず 2 人以上で行ってください。

組み立て部品

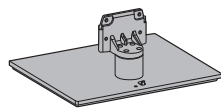
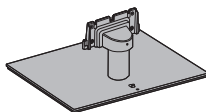
() は個数です。

転倒防止スタンド*¹ (1)

TH-75LX950

TH-65LX950

TH-55LX950



※ 1 本書の説明文では、「転倒防止スタンド」を「スタンド」と簡略して表記しています。

- このスタンドは吸着機能が付いています。本機の設置および接続などが完了したあと、吸着機能を「オン (吸着状態)」にしてください。

(→14)

TH-75LX950

本体固定用ねじ*² (4)

- 黒 M4×14

※ 2 本体固定用ねじと同じ袋に壁掛け用ねじ (4) (黒 M8×20) が入っています。壁掛け用ねじは、本機を壁掛け設置するときを使用します。(→16) 大切に保管してください。



TH-65LX950

TH-55LX950

本体固定用ねじ (4)

- 黒 M4×15



TH-75LX950

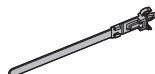
クランプ A (1)



TH-65LX950

TH-55LX950

クランプ B (1)

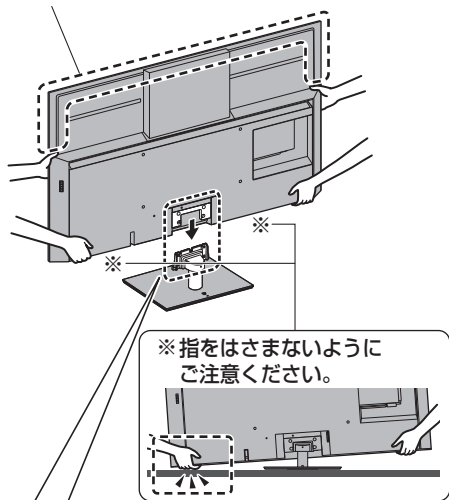


1 テレビ本体をスタンドに差し込む

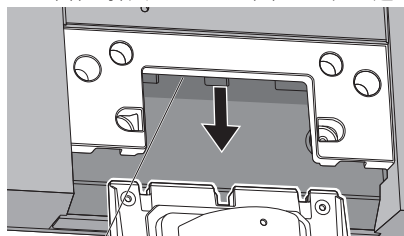
テレビ本体を包装箱から出してスタンドに差し込みます。

- テレビ本体を持ち上げる際は、イラストで示すところに手をかけて持ち上げてください。
- テレビ本体を床や机などに仮置きしないでください。

手をかけないでください。(→6)

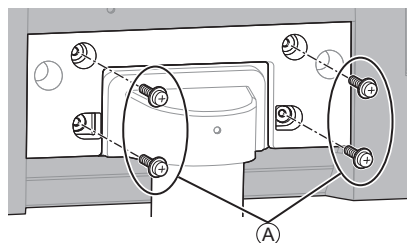


テレビ本体の挿入口に止まる位置まで差し込む。



2 ねじを取り付ける

本体固定用ねじ（4本）を使って、しっかりと固定してください。



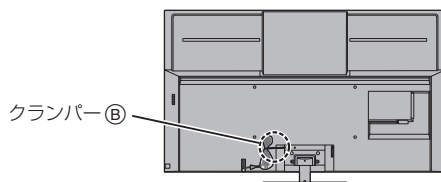
- テレビ本体が傾いている場合は、本体固定用ねじを緩めて、水平になるように調整してください。

ケーブルを接続する / まとめる

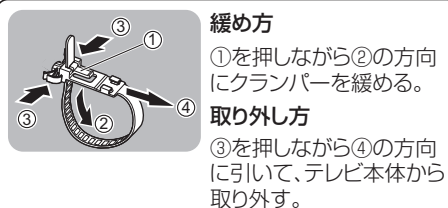
1 アンテナケーブルや外部機器などを接続する (→17～24)

2 電源コードからクランパー⑥を取り外す

- 束ねている電源コードからクランパー⑥を取り外し、手順3でご使用ください。
- クランパー⑥の取り外し方は、下記をご参照ください。



<クランパー⑥>



緩め方

①を押しながら②の方向にクランパーを緩める。

取り外し方

③を押しながら④の方向に引いて、テレビ本体から取り外す。

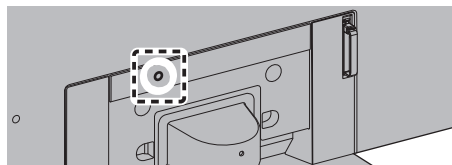
本機の設置 (続き)

TH-75LX950

3 電源コードやケーブルをまとめる

(1) クランパーAを使って電源コードを取り付ける。

<クランパーAを取り付けできる穴>

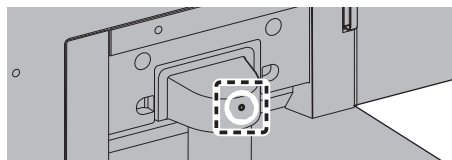


<クランパーA>

<p>取り付け穴</p>	<p>取り付け方</p> <p>① 取り付け穴に凸部を差し込む。</p>
<p>②</p>	<p>② 電源コードを入れ、クランパーを閉める。</p>

<p>フック</p> <p>①</p>	<p>取り外し方</p> <p>① フックを押しながらクランパーを開ける。</p>
<p>②</p> <p>③</p> <p>②</p>	<p>②を押しながら③の方向に引いて、テレビ本体から取り外す。</p>

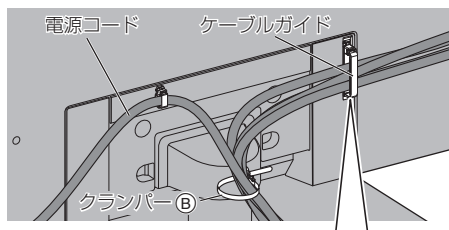
<クランパーBを取り付けできる穴>



<クランパーB>

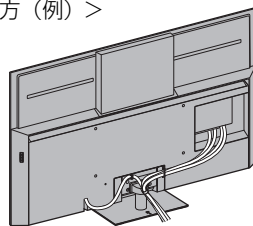
<p>取り付け穴</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>取り付け方・締め方</p> <p>① 取り付け穴に凸部を差し込む。</p> <p>② 接続ケーブルなどを束ねたあとに、引いて締める。</p>
<p>③</p> <p>フック</p>	<p>③ クランパーの先が長く余るときは、フックにかけて留める。</p>

(2) ケーブルをケーブルガイドに通し、電源コードやケーブルをクランパーBを使ってまとめる。



<p>①</p>	<p>②</p>	<p>使い方</p> <p>①を押しながらケーブルガイドを開ける。</p> <p>② ケーブルを入れ、ケーブルガイドを閉じる。</p>
----------	----------	----------------------------------------------------------------------------

<まとめ方(例)>

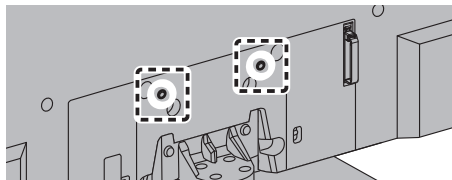


TH-65LX950 TH-55LX950

3 電源コードやケーブルをまとめる

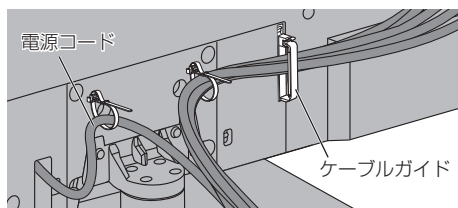
(1) クランパー⑧を使ってケーブルをまとめる。

<クランパー⑧を取り付けできる穴>



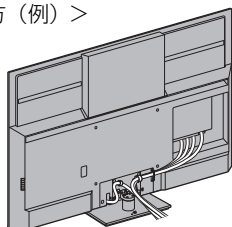
クランパー⑧の取り付け方、締め方は
(→12)

(2) ケーブルをケーブルガイドに通し、
クランパー⑧を使ってまとめる。



ケーブルガイドの使い方は (→12)

<まとめ方 (例) >



スタンドを取り外すときは

- 電源プラグやアンテナケーブル、機器間の接続ケーブル、転倒・落下防止部品を外したあと、必ずスタンドの吸着機能を「オフ (吸着解除)」にしてください。(→14)
- 吸着が解除されたことを確認してから、「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒・落下防止対策

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

●転倒・落下防止処置は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

付属の転倒・落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。

●転倒・落下防止対策は、すべての接続が完了してから行ってください。

●台などに設置するときは、設置面にほこりなど付着物がないようにきれいに清掃してください。

台を使用する場合は、必ず台と壁面の両方に固定してください。

転倒・落下防止部品

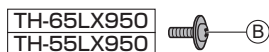
() は個数です。

ベルト (1)



ねじ

(ベルト用) 黒 (1)



木ねじ シルバー (1)



金具 (2)

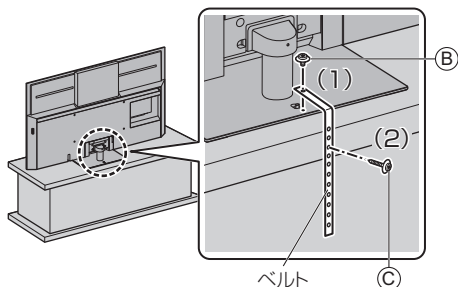


1 台などに固定する

(1) スタンドにベルトを取り付ける。

(2) 台などに固定する。

●設置する台などの取扱説明書の指示に従って取り付けてください。



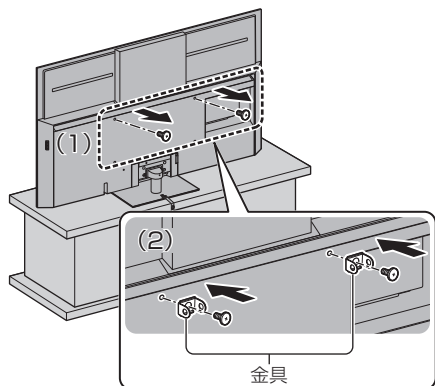
準備

本機
の
設
置

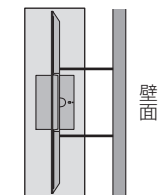
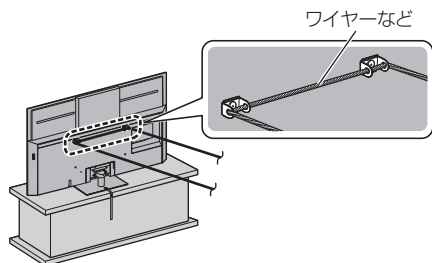
本機の設置 (続き)

2 壁面に固定する

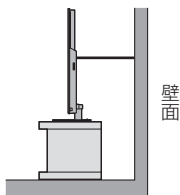
- (1) 本体背面上部のねじ(2か所)を取り外す。
- (2) 取り外したねじを使って、本体背面上部の2か所に金具を取り付ける。



- (3) 取り付けけた金具にワイヤー (市販品) などを通して固定する。
- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。



<上から見た図>

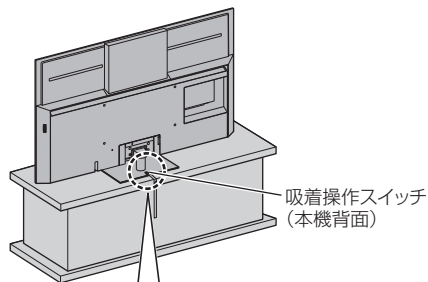


<横から見た図>

3 スタンドを固定する

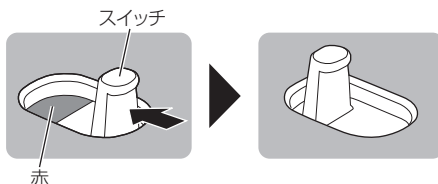
本機背面の吸着操作スイッチをオン (吸着状態) にし、本体と設置面を固定する。

- 吸着操作スイッチをオフ (吸着解除) にすると、吸着機能は解除されます。



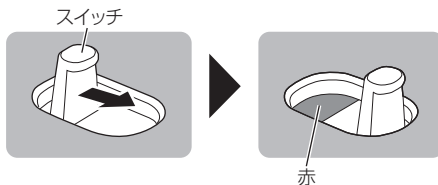
吸着機能をオン (吸着状態) にするとき
スイッチを奥までしっかり押す。

- 赤い部分が隠れるまで押し込んでください。

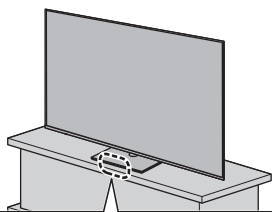


吸着機能をオフ (吸着解除) にするとき
スイッチを手前に引く。

- 赤い部分が表示されるまで引いてください。



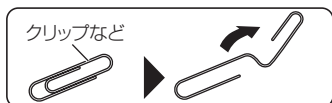
本機背面の吸着操作スイッチを操作できない場合は、以下の方法で吸着機能のオン（吸着状態）・オフ（吸着解除）を切り換えることができます。



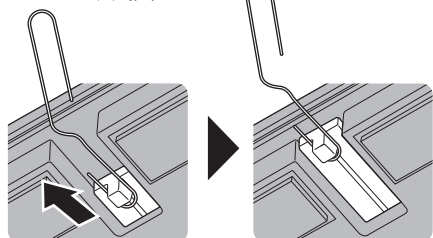
吸着機能をオン(吸着状態)にするとき

クリップなどで吸着操作スイッチを手前まで引き出す。

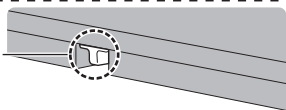
- クリップの取り扱いにはご注意ください。



<スタンド底面>



吸着操作スイッチ
(スタンド底面)

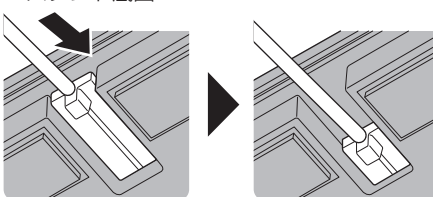


吸着機能をオフ(吸着解除)にするとき

棒状のもので吸着操作スイッチを押す。

- 吸着操作スイッチは、奥まで押し込んでください。

<スタンド底面>



転倒防止スタンドについて

本製品のスタンドは、いかなる条件においても転倒・落下しないことを保証するものではありません。また、当社は、災害などによるテレビの転倒・落下に伴う損害については補償いたしかねます。使用上の注意を十分にご確認ください。

本機の設置について

- 凹凸のない平らな面に設置してください。凹凸のある設置面では、スタンドの吸着効果は発揮しません。
- 吸着効果を十分に発揮させるには、本機を設置する前に、設置面と吸着部の汚れ、ほこり、ワックス、水分などを取り除いてください。
- 設置面の素材、使用場所や使用環境により吸着効果が弱まる場合があります。
- 台などの設置面が、漆やニス塗りなどの繊細な材質で加工されていると、設置面の表面素材がはく離するなどの破損が発生する場合があります。
- 設置面（設置台）を選ぶ際には、十分ご注意ください。
- 当社は、吸着機能により設置面の破損が発生した場合の損害については補償いたしかねます。

使用上のご注意

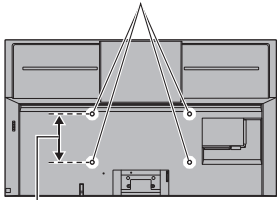
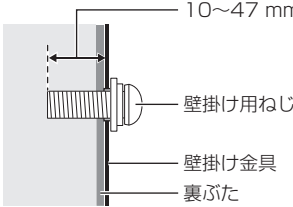
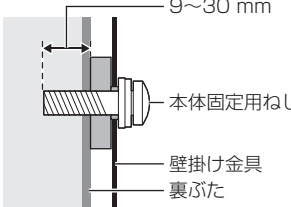
- 吸着操作スイッチが、お客様の意図していない状態になる場合があります。
- ベットの接触や物の落下などで、吸着操作スイッチがオン・オフに切り替わる場合があります。
- 本機を移動するときは、必ず吸着機能がオフ（吸着解除）になっていることを確認してから移動させてください。
- 吸着機能がオン（吸着状態）に設定された状態で、本機を持ち上げないでください。また、本機を故意に押したり、揺らしたりしないでください。スタンド底面にある吸盤の劣化や故障などの原因になります。
- 本機を持ち上げるときは必ず吸着機能をオフ（吸着解除）にしてください。吸着機能がオン（吸着状態）で本機を持ち上げた場合、台などの天板が持ち上がり、落下するおそれがあります。
- 設置面などの環境状況、および吸盤の経年変化により、吸着効果が弱まる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

壁掛け金具の設置 (別売品)

壁掛け金具の施工説明書の「安全上の
ご注意」も、必ずお読みください。

本機を壁掛け金具で設置する際は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、本機専用の壁掛け金具 (別売品) を使って設置してください。

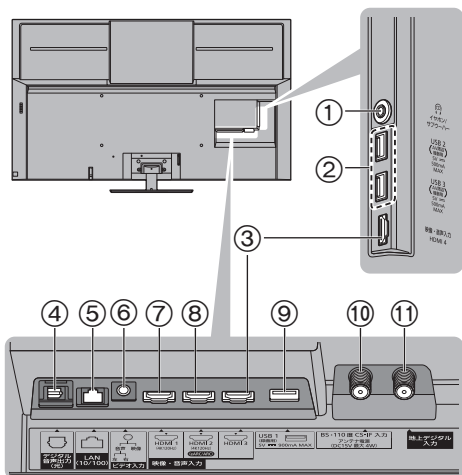
- 壁掛け金具の施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。
- [TH-75LX950] 壁掛け金具の施工説明書に記載されているスペーサーは、本体固定金具に貼り付けず
に設置してください。スペーサーを貼り付けると、壁掛け用ねじが締められません。
- 壁掛け金具を設置する際は、長さが 12 cm 以上 (グリップ部を除く) のプラスドライバー (市販品) を
ご用意ください。
- 壁掛け金具を設置する際は、テレビ本体を付属のスタンドに取り付けて、立てた状態で設置の準備
をします。(→10、11)
- [TH-75LX950] 本機に付属している壁掛け用ねじ以外は、使用しないでください。壁掛け用ねじは、
取り付け面からの長さが設定されています。
- [TH-65LX950] [TH-55LX950] 別売の壁掛け金具に付属しているねじ以外は、使用しないでくだ
さい。付属の取り付けねじは、取り付け面からの長さが設定されています。
- 本機の品番と製造番号は、本体下部右側の背面に表示しています。(→25)

	[TH-75LX950]	[TH-65LX950] [TH-55LX950]
壁掛け金具品番	TY-WK5L4R	
ねじの種類	壁掛け用ねじ : M8 × 20 (黒) (本機に付属) (→9)	本体固定用ねじ : M6 × 20 (黒) (壁掛け金具に付属)
調整可能な角度	0° (垂直) 下向き : 5°、10°	0° (垂直) 下向き : 5°、10°、15°
取り付け用ねじ穴 (テレビ本体背面)	<p style="text-align: center;">取り付け用ねじ穴</p>  <p style="text-align: center;">300 mm (取り付け寸法)</p>	
取り付け面からの ねじの長さ (断面図)	<p style="text-align: center;">10~47 mm</p>  <p style="text-align: center;">壁掛け用ねじ</p> <p style="text-align: center;">壁掛け金具</p> <p style="text-align: center;">裏ぶた</p>	<p style="text-align: center;">9~30 mm</p>  <p style="text-align: center;">本体固定用ねじ</p> <p style="text-align: center;">壁掛け金具</p> <p style="text-align: center;">裏ぶた</p>

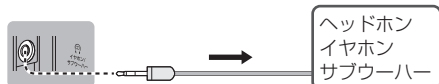
お願い

- 壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に
施工を依頼してください。
- 設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。
- 先端部の長いケーブルを使用するときは、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷め
ることがあります。このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角
度を調整してください。

端子部について



- ① ヘッドホン／イヤホン／サブウーハー
出力端子
(φ3.5 mm ステレオミニジャック)



- 別売のヘッドホンやイヤホンを接続するときは「ヘッドホン端子出力」を「ヘッドホン」に設定してください。
- 市販のサブウーハーを接続するときは「ヘッドホン端子出力」を「サブウーハー」に設定してください。本機からのサブウーハー出力は、L、Rとも同じ信号が出力されます。接続ケーブルは、お使いのサブウーハーに応じたケーブルをご使用ください。
- 「ヘッドホン端子出力」の設定などについてはガイドの「ヘッドホン端子の出力を設定する」() を押し、 目的から探す > テレビを見る > 音声 (音質) を設定・調整する) をご確認ください。

- ② USB 2 ~ 3 (AV 周辺機器用) 端子 (→22)
- ③ 映像・音声入力 HDMI 3 ~ 4 端子(→20, 21)
- ④ デジタル音声出力 (光) 端子 (→22)
- ⑤ LAN 端子 (→23)
- ⑥ ビデオ入力 (映像 / 音声) 端子 (→22)
- ⑦ 映像・音声入力 HDMI 1 (4K120 Hz) 端子 (→20, 21)
- ⑧ 映像・音声入力 HDMI 2 (4K120 Hz) (eARC/ARC) 端子 (→20, 21)
- ⑨ USB 1 (録画用) 端子 (→22)
- ⑩ BS・CS アンテナ接続端子 (→18, 19)
- ⑪ 地上デジタルアンテナ接続端子 (→18, 19)

お知らせ

- 説明に出てくる外部機器やケーブルなどは、本機の付属品ではありません。
- 接続する機器によって、使用するケーブルが異なります。外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。
- 接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。

サポートサイトで「動作確認情報」を確認できます。(→8)

接続 (続き)

テレビ放送を受信する (地上デジタル/BS4K・110度CS4K 放送など)

お知らせ

- アンテナケーブルは同軸ケーブルをご使用ください。同軸ケーブルを本機のアンテナ接続端子に接続する場合は、F型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 同軸ケーブルやF型接栓などは、シールド性能が高いものをご使用ください。

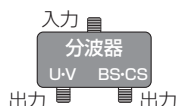
同軸ケーブル



F型接栓

- 分配器を使って本機と録画機器にBS・110度CSアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器をご使用ください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

分波器



混合している複数の電波をBS・CSとUHF・VHFに分波します。

分配器

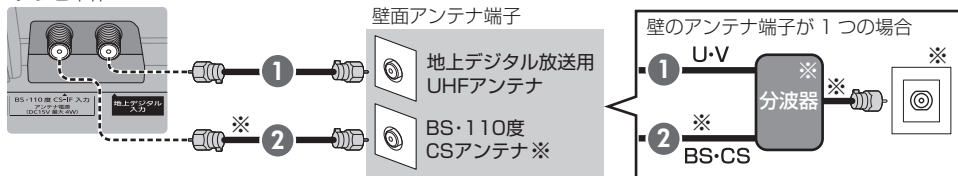


電波を本機と録画機器など複数の機器に分配します。

- 接続図は一般的な例であり、接続方法によって新たにご準備いただくものは変わります。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

アンテナと接続する

テレビ本体



左旋円偏波対応のBS・110度CSアンテナに接続する場合

- 有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴することができます。
- 左旋の電波は、BS・110度CSアンテナで受信した場合、従来の右旋の信号より高い周波数に変換されて宅内の配線で伝送されます。このため、左旋の放送を視聴するにはアンテナ交換に加え、高い周波数(2.2GHz～3.2GHz)の信号を伝送できる機器(SHマーク (SH))が表示された機器など、4K放送に対応した機器)に交換する必要があります。交換が必要な機器は、分波器、分配器などがあります。(交換が必要な機器を※で表しています)

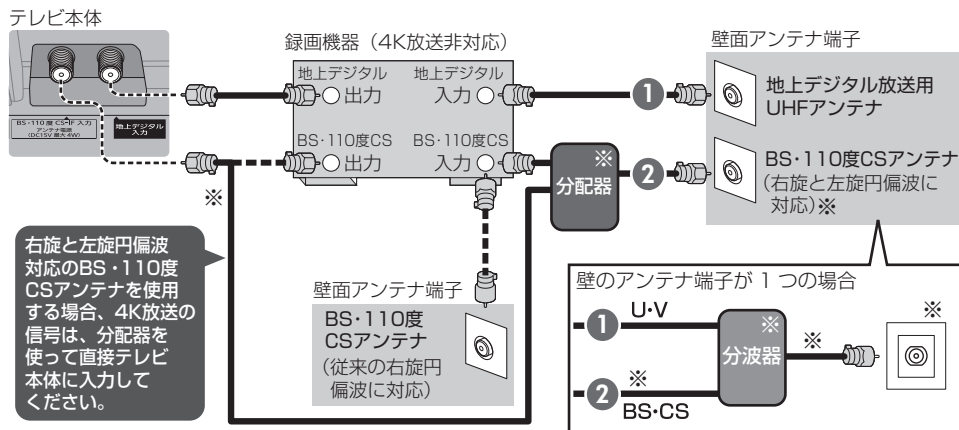
従来の右旋円偏波対応のBS・110度CSアンテナに接続する場合

- 現在ご使用のアンテナ(右旋円偏波対応のBS・110度CS)設備で、従来のBS放送と110度CS放送に加え、右旋放送のBS4K放送を視聴できますが、ご使用中の設備機器などの性能などによっては、機器交換が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

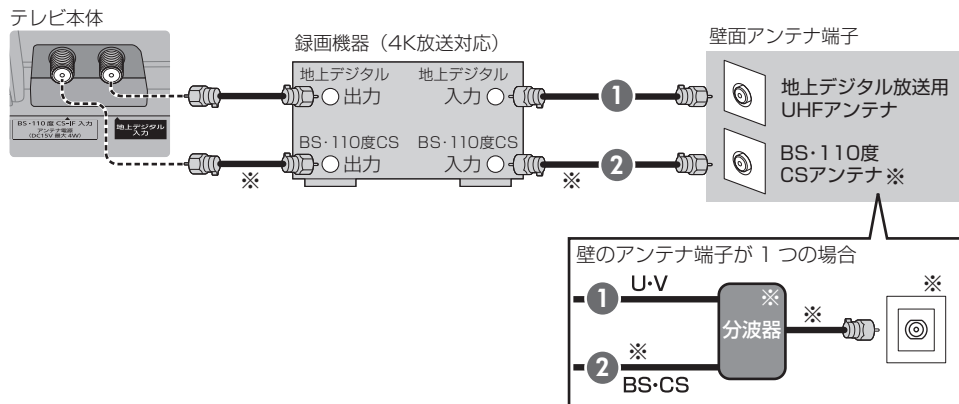
4K 放送非対応の録画機器を中継して接続する

従来の右旋円偏波対応の BS・110 度 CS アンテナを使用する場合は、**---** のように分配器を使わずに録画機器を中継して接続できます。

- 4K 放送非対応の録画機器のチューナーでは、4K 放送は視聴・録画ができません。



4K 放送対応の録画機器を中継して接続する



※左旋円偏波の4K放送を視聴するためには、「SHマーク」が表示された機器など、4K放送に対応した機器をご使用ください。

お知らせ

- 4K放送は従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波とBS・110度CSの左旋円偏波で放送されます。
- 接続方法や接続機器については、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 宅内の配線や機器から電波が外部に漏れないよう、適切な機器の使用や工事が必要です。
- 有料放送の視聴には別途契約が必要です。契約には「ACAS番号」(→29)が必要となります。

接続 (続き)

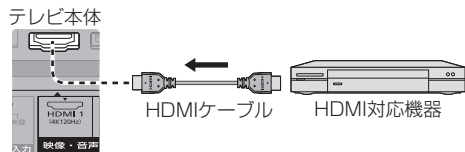
映像 / オーディオ機器と接続する

- 設定や操作方法についてはガイドの「テレビを見る / いろいろな機能 / 各種設定」() を押し、 目的から探す > テレビを見る > 4K 映像を見る) をご確認ください。
- 接続ケーブルは、お使いの機器に応じたケーブルをご使用ください。

HDMI 端子の接続 (HDMI 対応機器)

HDMI 端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像 / 音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

- HDMI 対応機器との接続には、HDMI ロゴのある「High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。
- HDR 対応機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある「Premium High Speed HDMI ケーブル」をご使用ください。
- 4K 120 Hz 対応機器と接続する場合は、HDMI ロゴのある「Ultra High Speed HDMI ケーブル」をご使用のうえ、HDMI 1、または 2 端子に接続してください。



HDMI オート設定について

本機は、4K 対応機器接続時に、より高精細かつ広色域、高フレームレートの映像を再生できるよう対応しています。モードが 3 種類あり、状況に応じて設定を変更してください。設定を変更するには、入力切換ボタンで機器を接続している HDMI 入力に切り換え、「HDMI オート設定」() を押し、「設定」→「機器設定」) を選んでください。

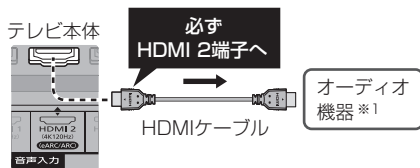
- モード 1:
接続機器との互換性を優先するモードです。モード 2、モード 3 で映像や音声が入力されない場合に設定します。(映像が赤いときや音声が出ないときなど)
- モード 2:
高精細に対応するモードです。(HDMI 3、4 端子のお買い上げ時の設定)
- モード 3:
高精細、高フレームレートに対応するモードです。HDMI 1、2 端子のみ設定できます。(HDMI 1、2 端子のお買い上げ時の設定)

- 対応信号などの内容についてはガイドの「HDMI 端子で視聴可能な 4K 映像の入力信号を設定する」(を押し、 目的から探す > テレビを見る > 4K 映像を見る) をご確認ください。

eARC/ARC 対応のオーディオ機器を接続する

- eARC (エンハンストオーディオリターンチャンネル) / ARC (オーディオリターンチャンネル) とは、HDMI 端子からデジタル音声信号を送る機能です。

eARC は、HDMI 2.1 で規格化された機能です。本機は、eARC および ARC のオーディオフォーマットに対応しています。



- ※ 1 サウンドバーや AV アンプなどの eARC / ARC 対応オーディオ機器

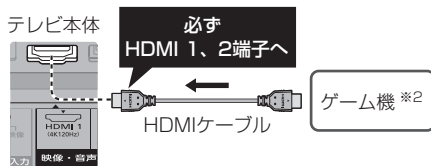
TH-75LX950

VRR / AMD FreeSync™ Premium 対応の機器を接続する

- VRR (バリアブルリフレッシュレート) / AMD FreeSync™ Premium とは、映像のカクつき、ティアリング (画面が途中で左右にずれる現象)、遅延を低減し、滑らかな動きで表示する機能です。VRR は、HDMI 2.1 で規格化された機能です。AMD FreeSync™ Premium は、AMD 社が規定した機能です。

本機は、VRR および AMD FreeSync™ Premium の映像フォーマットに対応しています。

- VRR および AMD FreeSync™ Premium を有効にするには、「VRR」() を押し、「設定」→「映像調整」→「オプション機能」) を「オン」に設定してください。

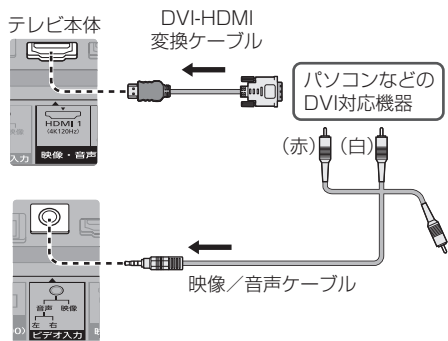


- ※ 2 ゲーム機などの VRR/AMD FreeSync™ Premium 対応機器

DVI 対応の再生機器を接続する

DVI 出力端子がある機器は、DVI-HDMI 変換ケーブルを使って接続してください。

- 音声をとお楽しみいただくには、映像／音声ケーブルを接続し、「HDMI 音声入力設定」(メニュー) を押し、「設定」→「音声調整」) で、接続した HDMI 端子の項目を「アナログ」に設定してください。



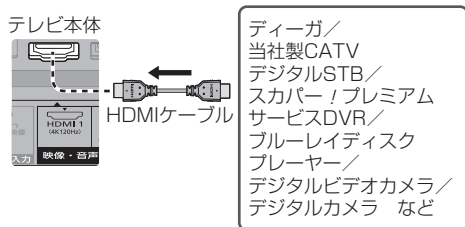
HDMI 端子の接続 (ピエラリンク対応機器)

本機とピエラリンク対応機器を HDMI ケーブルで接続すると、ピエラリンクをお楽しみいただくことができます。

- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは、動作しません。当社製 HDMI ケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。
- 同じ種類の機器を接続した場合、本機からピエラリンクで操作できるのは、番号の小さい HDMI 端子に接続した機器 1 台のみです。(例えば、2 台のブルーレイディスクプレーヤーを HDMI 2 と HDMI 3 に接続すると、HDMI 2 に接続したブルーレイディスクプレーヤーのみ、ピエラリンクで操作することができます。)

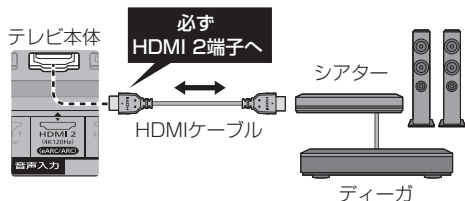
ピエラリンクで録画や再生に使う機器を接続する

- 本機の番組表から録画予約できるのは、ディーガのみです。



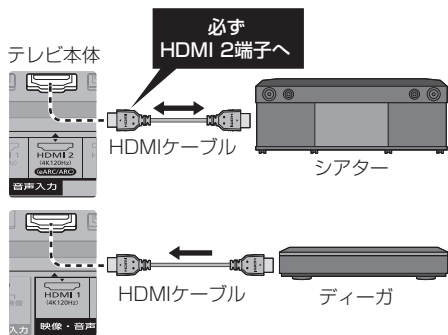
ピエラリンクで操作するシアター機器を接続する

- シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
- この接続は eARC/ARC 対応のシアターの例です。eARC/ARC 非対応のシアターの場合は、別途光デジタルケーブルでの接続が必要です。(→22)
- シアターは、本機とディーガの間に接続します。



- 4K 映像に対応しているディーガとシアターを接続するときは

シアターの HDMI 端子が 4K 映像信号に対応していることをご確認ください。シアターの HDMI 端子が対応していない場合、4K 映像を見るには、ディーガを本機の HDMI 端子に直接接続してください。



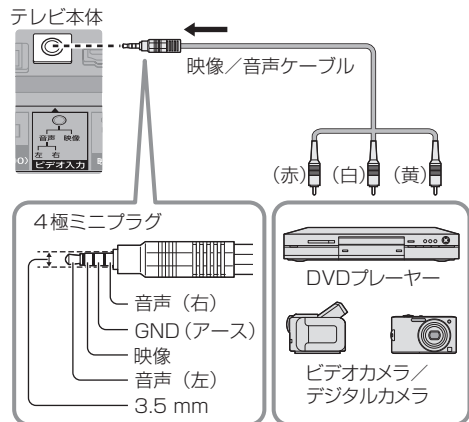
- ピエラリンクについてはガイドの「ピエラリンク (HDMI 1) を使う」(メニュー) を押し、? 目的から探す > いろいろな機能) をご確認ください。

接続 (続き)

ビデオ入力端子の接続

DVD プレーヤーなどの再生機器に接続します。

- 片方が4極ミニプラグの映像／音声ケーブルを使って再生機器の映像・音声出力端子に接続してください。
- 4極ミニプラグは、ケーブルによって、4つの信号の配線仕様（極性）が異なります。以下の図にある仕様の市販品をお使いください。

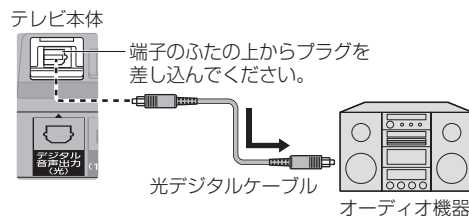


光デジタル音声出力端子の接続

デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCM または AAC、ドルビーオーディオ対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に接続します。

- ドルビーオーディオや AAC 対応のときは「デジタル音声出力」() を押し、「設定」→「音声調整」の設定が必要です。

アンプなど、光デジタル音声入力対応機器を接続する

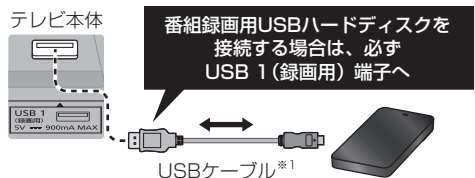


USB 機器と接続する

USB 端子の接続

USB ハードディスクなどの USB 機器を接続し、コンテンツ再生や番組録画などができます。

- 本機の USB 端子は、USB ハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器は接続しないでください。
- USB ハードディスクは、当社にて動作確認をしているものをお使いください。すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。動作確認機器については、サポートサイト(→8)の動作確認情報をご覧ください。
- USB 端子に機器を接続したり、USB 端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。
- 録画や再生中など、USB 機器の使用中は、本体の電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、USB 機器を外したりしないでください。機器の故障やデータの破壊の原因となります。



再生機器（ビデオカメラなど）は、USB2～3端子（AV 周辺機器用）に接続ください。


- ※1 スーパースピード USB（USB3.0）対応の USB ハードディスクを接続するときは、スーパースピード USB（USB3.0）対応の USB ケーブルをご使用ください。

- ※2 番組録画用 USB ハードディスクは、本機専用として使用してください。本機で登録したあとに他の機器で使用するには、再フォーマットが必要になり、データはすべて消えてしまいます。USB ハブを使って複数の USB ハードディスクを同時に接続することはできません。（8 台まで本機に登録できますが、一度に使用できる USB ハードディスクは 1 台です。）

- 設定や操作方法についてはガイドの「録画する / メディアプレーヤー / 各種設定」() を押し、 目的から探す) をご確認ください。

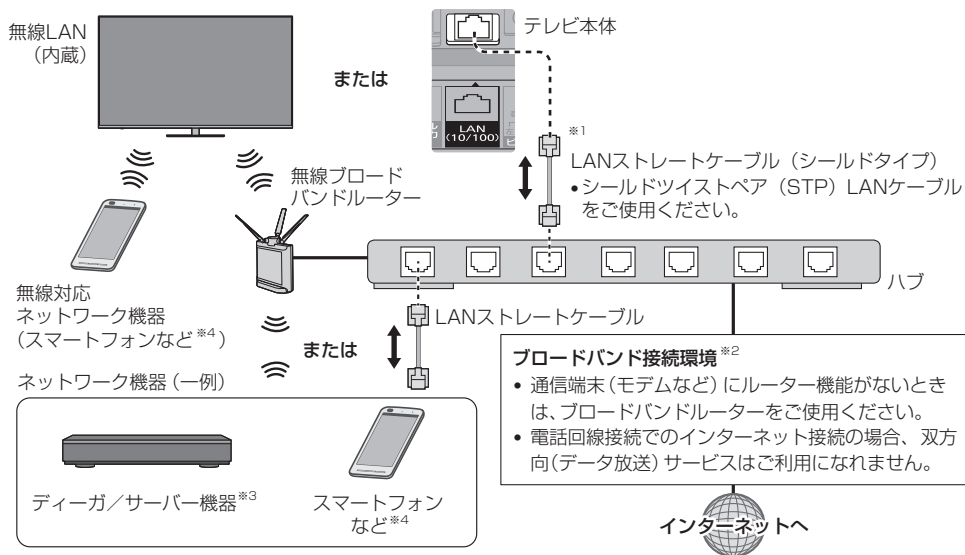
ネットワーク／ネットワーク機器と接続する

ブロードバンド環境で本機をネットワークに接続すると、様々なアプリやサービスを利用することができます。

- 利用できるアプリやサービス内容は予告なく変更する場合があります。
- LAN 端子には、LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 本機と無線ブロードバンドルーター間の無線方式は、11ac または 11n（5 GHz）を推奨します。
- ネットワーク機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- お客様の情報の取り扱いについては（→37）
- 設定や操作方法についてはガイドの「ネットワーク／いろいろな機能／各種設定」（☰ を押し、 目的から探す）をご確認ください。

ネットワークおよびネットワーク機器の接続

初めて本機を使用するときは、かんたん設置設定でネットワーク接続の設定を行います。（→28）

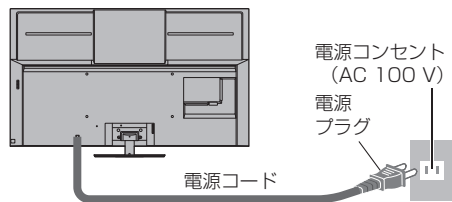


- ※1 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。
- ※2 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを經由して接続してください。
- ※3 お部屋ジャンプリンクを使用するときの機器です。お部屋ジャンプリンクの詳細についてはサポートサイト（→8）で確認できます。
- ※4 テレビ（ビエラ）を操作したり、コンテンツをテレビに表示するなどの操作が簡単にできる、テレビ用アプリ・メディアアクセス、TV シェアなどを使用するときの機器です。アプリの詳細についてはサポートサイト（→8）で確認できます。

接続 (続き)

電源コードの接続

電源プラグは、すべての接続が完了してから電源コンセントに差し込んでください。



リモコンの登録 (ペアリング)

本機に付属のリモコンは、Bluetooth® 通信に対応しています。リモコンを本機に登録すると、本機とリモコンの通信は Bluetooth® 無線技術で行われますので、テレビ本体のリモコン受信部に向けてことなくリモコンを操作することができます。お買い上げ後リモコンを初めて使う場合、電池を入れた状態でテレビ本体のリモコン受信部に向けていずれかのボタンを押すと、自動的に登録を行います。

リモコンで電源を「入」「切」するときは、赤外線通信を行いますので、リモコン受信部に向けて操作してください。(→25)

- 登録は、テレビ本体のリモコン受信部に向けて、約 50 cm 以内に近づけて行ってください。(→25)
- リモコンの電池残量が少ないときなど、正しく登録できないことがあります。
- 音声操作はリモコンが登録されている場合のみ使用することができます。(→30)
- Bluetooth® 通信でのリモコンの登録がされていない場合でも音声操作以外のリモコン操作は可能です。

登録に失敗したときは

リモコンの登録がうまくできないときは、再度、登録をしてください。

- (1) を押して「設定」を選び、 を押す
- (2) 「機器設定」を選び、 を押す
- (3) 「設置設定」を選び、 を押す
- (4) 「リモコン設定」を選び、 を押す
- (5) 「リモコン登録」を選び、 を押す

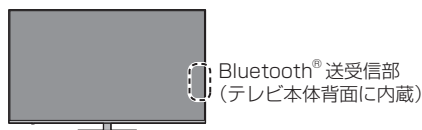
登録画面が表示されるので、画面の指示に従って登録してください。

Bluetooth® 機器の登録について

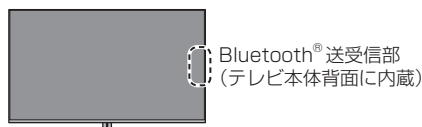
本機は Bluetooth® 通信に対応しています。Bluetooth® 機器を登録 (ペアリング) すると、本機と接続 (通信) できます。

- 本機に Bluetooth® 機器を登録するときは、本機から 50 cm 以内に近づけてください。
- 本機に対応していない Bluetooth® 機器は、登録できません。
- 本機に登録した Bluetooth® 対応機器を、他の機器に登録して使用すると、本機で使用できなくなることがあります。この場合は、再度、本機に登録してください。
- 本機は、A2DP 対応の Bluetooth® オーディオ機器を登録することができます。無線技術の特性により映像と音声再生において遅延が発生します。
- 同時に使用できる A2DP 対応のオーディオ機器は 2 台です。2 台使用するには、「デュアルオーディオ」を「オン」に設定したあと、2 台目を接続してください。「デュアルオーディオ」の設定についてはガイドの「Bluetooth 送信モード設定」() を押し、 目的から探す > いろいろな機能 > Bluetooth 対応機器を使う > Bluetooth 設定をする)をご確認ください。

TH-75LX950



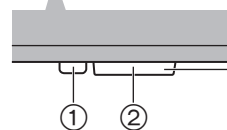
TH-65LX950 TH-55LX950



- 設定や操作方法についてはガイドの「いろいろな機能 / 各種設定」() を押し、 目的から探す)をご確認ください。

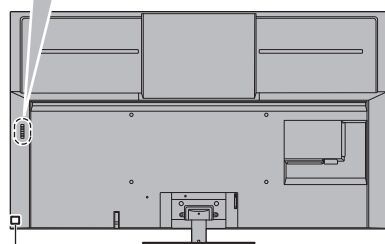
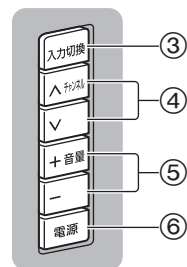
各部の名称と働き

テレビ本体



リモコン受信部

操作範囲：
左右各 約 30° 以内
上下各 約 20° 以内



品番、製造番号表示

① 電源ランプ

緑色点灯：電源「入」
周りの明るさに応じて、見やすい明るさに自動調節します。

緑色点滅：テレビ起動中

赤色点灯：リモコンで電源「切」

橙色点灯：機能待機中*

消灯：本体で電源「切」


●電源ランプ点灯中にリモコンから赤外線を受信すると、点滅します。

※録画中、録画待機中、オンタイマー待機中など

② リモコン受信部（赤外線通信用）

電源を「入」「切」するときや、リモコンの登録（ペアリング）をしないで操作するときは、リモコンをこの部分に向けて操作してください。

環境光センサー受光部

視聴環境の明るさと色温度に応じて最適な画質に自動調整することができます。機能を使用する場合は、「明るさ連動」「色温度連動」() を押し、「設定」→「映像調整」→「環境光センサー設定」を「オン」に設定してください。

③ 入力切替ボタン

放送を切り換えます／外部入力にします。

メニューボタン

長押しすると、メニュー画面を表示／非表示します。

決定ボタン（メニュー操作時）

④ チャンネルボタン

チャンネルを順送りで選びます。

上下カーソルボタン（メニュー操作時）



⑤ 音量ボタン

音量を調整します。

左右カーソルボタン（メニュー操作時）

⑥ 電源「入」「切」ボタン

「入」で電源ランプが緑色点灯し、リモコン操作が可能になります。

●設定や操作方法についてはガイドの「いろいろな機能／各種設定」() を押し、 目的から探す) をご確認ください。

お願い

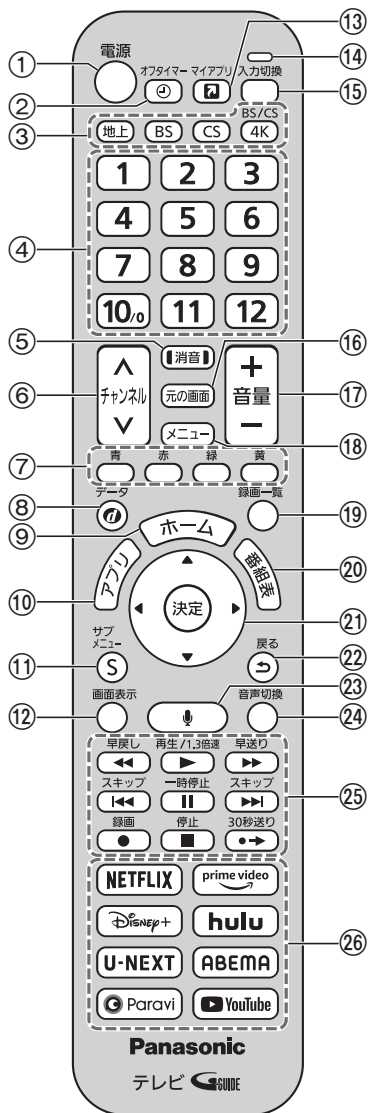
●リモコン受信部（赤外線通信時）／環境光センサー受光部の前にものを置かないでください。また、リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

お知らせ

- ③、④、⑤のボタンを押すと、画面右端に操作ボタンのガイドが約3秒表示されます。（操作中のボタンが黄色で表示されます。）
- 電源「切」時の場合も、一部の回路は通電しています。

各部の名称と働き (続き)

リモコン



- ① テレビ本体の電源「入」状態で、電源を「入」 「切」する
- ② 自動的に電源を切りたいときに設定する (押し時間を選ぶ)
- ③ 放送を切り換える (放送切替ボタン)

- ④ チャンネルを直接選ぶ (→30) 文字を入力する
- ⑤ 音を一時的に消す (もう一度押すと解除)
- ⑥ チャンネルを順送りで選ぶ
- ⑦ 画面の指示に従って使う (カラーボタン)
- ⑧ データ放送/ハイブリッドキャストを表示する
- ⑨ ホーム画面を表示する
- ⑩ アプリの一覧を表示する
- ⑪ サブメニューを表示する
- ⑫ 番組のタイトルなどを表示する
- ⑬ 登録したアプリを表示する
お気に入りのアプリを1つ、このボタンに登録することができます。初めてボタンを押すと登録画面が表示されますので、表示内容に従って登録してください。
- ⑭ 音声操作マイクを使って操作する (→30)
- ⑮ 外部入力に切り換える (ディーガ・DVD など)
- ⑯ テレビ画面に戻る
- ⑰ 音量を調整する (画面下に音量を表示)
- ⑱ メニュー画面を表示する
 - 本機の品番を表示する
(メニュー) を押し、「設定」を選び、(決定) を押す (画面の左下に表示)
 - 音声ガイドを設定する (3秒以上押す)
- ⑲ 録画一覧を表示する
- ⑳ 番組表*を見る
- ㉑ 画面上で選ぶ/決定する



- ㉒ 1つ前の画面に戻る
- ㉓ 音声で操作する (マイクボタン) (→30)
- ㉔ 2か国語などを切り換える
- ㉕ ディーガやUSBハードディスクなどの外部機器を操作する
 - 各ボタンの詳細についてはガイドの「本機のリモコンで外部機器を操作する」 (メニュー) を押し、(?) 目的から探す > テレビを見る > 外部機器をつないで見る、聴く) をご確認ください。
- ㉖ インターネットにつないで、各種サービスを利用する
Netflix, Prime Video, Disney+, Hulu, U-NEXT, ABEMA, Paravi, YouTube

※本機の番組表はGガイドを使用しています。

本機のリモコンはBluetooth®通信に対応しています。Bluetooth®通信で接続するには登録(ペアリング)が必要です。(→24)

リモコンモードの設定

本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが動作してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、本機のリモコンモードを変更してください。(出荷時の設定はリモコンモード1です。)

●本体とリモコンのリモコンモードが違っていると、リモコンの電源ボタンを押しても、電源ランプは点滅しますが電源の「入」「切」はできません。その場合はリモコンモードを変更してください。

- (1) を押す
- (2) 「設定」→「機器設定」→「設置設定」→「リモコン設定」→「受信リモコンモード設定」を選び、「モード2」に設定する
- (3) リモコンをモード2に設定する
 2 *を同時に3秒以上押ししてください。

※モード1に設定するときは **1**

- (4) テレビ本体のリモコン受信部に向けて を押す
 - リモコンモード1で使用するときは、本機とリモコンをそれぞれモード1に設定してください。

お知らせ

●リモコンが本機に登録(ペアリング)されている場合は、本機とリモコンはBluetooth®通信を行いますので、リモコンをテレビ本体のリモコン受信部に向けなくても操作することができます。

ただし、リモコンで電源を「入」「切」するときは、赤外線通信を行いますので、リモコン受信部(→25)に向けて操作してください。

●リモコンが本機に登録(ペアリング)されていない場合は、本機とリモコンは赤外線通信を行いますので、リモコンをテレビ本体のリモコン受信部(→25)に向けて操作してください。なお、音声操作はできません。

お願い

- テレビ本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 故障の原因になりますので、リモコンを落とさないように、また、水などの液体をかけないようにご注意ください。

リモコンモード2に設定したリモコンを紛失したときは

本機のリモコンモードを強制リセットして、モード1に変更することができます。

- (1) リモコンモード1に設定された、別の当社製テレビのリモコンを用意する
- (2) 用意したリモコンを本機に向け、消音ボタンを約5秒間押す
- (3) リモコンモード強制リセットの確認画面が表示されたら、再度、消音ボタンを約3秒間押す

●電池の入れ方については(→9)

●設定や操作方法についてはガイドの「ホームを使う/いろいろな機能/各種設定」()を押し、 目的から探す)をご確認ください。

設置設定

かんたん設置設定

ご購入後、初めて本機の電源を入れると、「かんたん設置設定」画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

- 外部機器と接続する場合は、「かんたん設置設定」を実施する前に、接続を済ませてください。(→17～24)
- それぞれの設定は、あとから変更することができます。

電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源ボタン(→26)で本機の電源を入れる

- 画面の指示に従って、リモコンで操作してください。

かんたん設置設定をやり直す

引っ越しなどテレビ放送の受信地区が変わったときや、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直すことができます。

- 左旋円偏波対応のBS・110度CSアンテナに交換したときは、かんたん設置設定をやり直してください。

- (1) **[メニュー]** を押して「設定」を選び、**[決定]** を押す
- (2) 「機器設定」を選び、**[決定]** を押す
- (3) 「かんたん設置設定」を選び、**[決定]** を押す
画面の指示に従って操作してください。

画面表示の言語を変更する

かんたん設置設定で設定した言語(日本語またはEnglish)を、あとから切り換えることができます。

- 一部の表示は設定にかかわらず日本語表記です。
- (1) **[メニュー]** を押して「設定」(現在の設定がEnglishのときは「Main Menu」)を選び、**[決定]** を押す
 - (2) 「機器設定」(現在の設定がEnglishのときは「Setup」)を選び、**[決定]** を押す
 - (3) 「言語 / Language」を選び、**[決定]** を押す
 - (4) 「OSD 言語」(現在の設定がEnglishのときは「OSD Language」)を選び、**[決定]** を押す
 - (5) 設定する言語を選び、**[決定]** を押す

- 設定についてはガイドの「テレビを見る」(**[メニュー]** を押し、**[?]** 目的から探す)をご確認ください。

受信チャンネルを再設定する

テレビ放送をスキャンし直してチャンネル設定を変更したり、新しく開局した放送局を追加したり、チャンネルをお好みで設定し直すことができます。

- (1) **[メニュー]** を押して「設定」を選び、**[決定]** を押す
- (2) 「機器設定」を選び、**[決定]** を押す
- (3) 「設置設定」を選び、**[決定]** を押す
- (4) 「チャンネル設定」を選び、**[決定]** を押す
- (5) 再設定する放送を選び、**[決定]** を押す

以降は、画面の説明を確認しながら設定してください。

地上デジタル放送の設定方法について

初期スキャン

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

再スキャン

地上デジタル放送の受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

マニュアル

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

自動追従スキャン

地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信したとき、チャンネル設定を自動で変更するかどうかを設定します。

- お買い上げ時は自動追従スキャンは「オン」に設定されています。チャンネル設定の内容を自動で変更されないようにする場合は「オフ」に設定してください。
- 自動追従スキャンを「オフ」に設定すると、地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信しても自動でチャンネルが設定されなくなります。その場合は、「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、サポートサイト(→8)の品番別サポート情報でご覧いただけます。

- チャンネル設定についてはガイドの「いろいろな機能」(**[メニュー]** を押し、**[?]** 目的から探す)をご確認ください。
- ネットワーク接続の設定についてはガイドの「ネットワーク」(**[メニュー]** を押し、**[?]** 目的から探す)をご確認ください。

信号品質を確認する

個別のアンテナで受信しているとき、アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとの信号品質（受信する電波の質）を確認することができます。

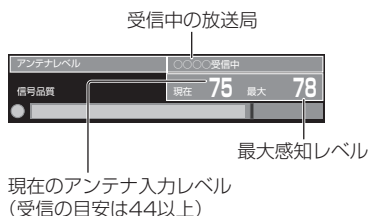
- 信号品質は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。また、信号品質は、天候、季節、地域、チャンネル、アンテナシステムの条件などにより変動することがありますので、十分な余裕を取ることをお勧めします。
- アンテナの向き調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

- (1) **メニュー** を押して「設定」を選び、**決定** を押す
- (2) 「機器設定」を選び、**決定** を押す
- (3) 「設置設定」を選び、**決定** を押す
- (4) 「受信設定」を選び、**決定** を押す
- (5) 設定する放送を選び、**決定** を押す

地上デジタル放送

アッテネーターを設定したり、信号品質が最大になるように調整します。

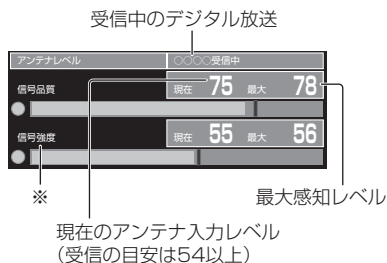
- (1) 「物理チャンネル選択」で、調整する物理チャンネルを選ぶ
地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。
- (2) 必要であれば「アッテネーター」を設定する
放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。
- (3) 信号品質を確認し、必要であればアンテナの向きを調整する



衛星デジタル放送

アンテナ電源の「オン」「オフ」を設定したり、信号品質が最大になるように調整します。

- (1) 「アンテナ電源」を必要に応じて設定する（通常は自動で設定されます。）
 - 個別の衛星アンテナで受信しているときなど、本機から衛星アンテナのコンバーターに電源を供給する必要があるときは、「オン」に設定します。
 - ブースターなどからコンバーターに電源を供給しているときは、「オフ」に設定します。
- (2) 信号品質を確認し、必要であればアンテナの向きを調整する
BS や 110 度 CS 放送以外の衛星電波を受信中は、アンテナレベルに「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。



※信号強度の数値は、受信信号の強さの目安です。アンテナの調整は、信号品質の数値を参考にしてください。

- 受信設定についてはガイドの「いろいろな機能」（**メニュー** を押し、**?** 目的から探す）をご確認ください。

エイキャス ACAS 番号について

新 4K8K 衛星放送対応の受信機には、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACAS チップを内蔵しています。ACAS チップには ACAS 番号（20 桁）が書き込まれています。NHK の受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS 番号が必要です。

- ACAS 番号を確認するには「保証とアフターサービス」(→43) の手順に従ってご確認のうえ、「保証とアフターサービス」の記入欄にメモしておいてください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先の NHK や有料放送に解除または更新連絡をしてください。

テレビを見る

テレビ放送を見る

電源が入っていないときは

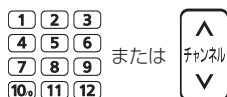
本体の電源 (→25) またはリモコンボタンで電源を入れてください。

- テレビ本体の電源が「入」のときは、電源ランプが赤色、または橙色に点灯しています。

1 放送の種類を選ぶ



2 チャンネルを選ぶ



3 音量を調整する



番組表から番組を選んで見るには

- (1) テレビを視聴中に を押す
 - (2) 放送の種類 () を選ぶ
 - (3) 番組を選び、 を押す
 - (4) 「今すぐ見る」または「見るだけ予約」を選び、 を押す
 - 今すぐ見る：
放送中の番組を選んだときに表示されます。選んだ番組に切り換わります。
 - 見るだけ予約：
放送予定の番組を選んだときに表示されます。テレビ放送を視聴中に放送時刻になると、選んだ番組に切り換わります。
- 番組視聴、録画・再生の設定や操作方法についてはガイドの「ホームを使う / テレビを見る / 録画する / メディアプレーヤー / いろいろな機能」(を押し、 目的から探す) をご確認ください。

音声操作について

音声操作マイクに向かって発話した言葉を認識し、テレビのチャンネル選択や音量調整、番組検索、インターネット検索などができます。

リモコンがテレビ本体に登録(ペアリング)されていない場合は、登録(ペアリング)をしてください。(→24)

- 検索などを行う場合は、本機をインターネットに接続する必要があります。(→23)
- 音声操作が有効な距離は、使用環境によって異なります。
- お使いになる人の声質や話し方、周囲の環境や状況によっては正しく動作しないことがあります。
- その他 Bluetooth® 機器を同時接続している場合、接続機器により音声操作が正常に動作しないことがあります。
- Google アシスタントと Amazon Alexa は、地域と言語によってはご利用いただけません。
- 一部の音声サービスは準備中場合があります。

使用する音声操作 / 音声サービスを選択する

- (1) を押す
- (2) 「ビエラ音声操作」「Google アシスタント」「Amazon Alexa」から使用する音声操作 / 音声サービスを選ぶ
 - 本機で使用できる音声操作 / 音声サービスは、いずれか1つだけです。

音声で操作する

- (1) を押す
- (2) 音声操作マイクに向かって発話する



- 音声操作の設定や操作方法についてはガイドの「いろいろな機能」(を押し、 目的から探す) をご確認ください。
- ビエラ音声操作の使い方については、「音声操作の使い方ガイド」(を押し、「設定」→「機器設定」→「音声操作」→「ビエラ音声操作」) をご覧ください。
- 音声操作や音声サービスの機能は予告なく変更する場合があります。

商標などについて

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、ドルビービジョン、Dolby Vision IQ、ドルビービジョンIQ、Dolby Atmos、ドルビーアトモス、Dolby Audio、ドルビーオーディオおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Confidential unpublished works.
Copyright © 1992-2021 Dolby Laboratories.
All rights reserved.
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Corporation および/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- G ガイドは、米国 TiVo Corporation および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国 TiVo Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド (EPG) が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド (EPG) の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved.
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright
FUJITSU LIMITED 2010-2022
- デジタルアーツ/イ・フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- WPA3™、WPA2™、WPA™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- Bluetooth® とそのロゴマークは Bluetooth SIG, Inc. の商標で、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- Google は Google LLC の商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の登録商標です。
- Amazon、Prime Video、Alexa および関連する全ての商標は Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- © Disney
- © 2020 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD and FreeSync and combinations thereof are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

テレビを見る

設定・使い方

必要なとき

商標などについて

NetFront® Browser BE

Dolby Atmos

G-GUIDE®

HE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadviance.com

AMD
FreeSync
Premium

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前に以下の手順に従ってご確認ください。

1 テレビをリセットする

電源プラグコンセントから抜き、約5秒以上たってから、再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

- 本体の電源ランプが赤色点滅する場合は(→33)

解決しないとき

2 マニュアルを確認する

「本書」と「ビエラ操作ガイド」

- 電源 / リモコンのトラブルは(→右記)
- よくあるお問い合わせは(→33)
- その他のトラブルは▶ ビエラ操作ガイドの「困ったときは/よくあるご質問」

解決しないとき

3 当社ホームページのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.com/jp/support/tv/>



サポートサイトでは、以下の情報などを掲載しています。

- よくあるご質問
- 動作確認情報 / スマートフォンのアプリ情報 / ソフトウェアのダウンロード情報など

解決しないとき

4 映像音声テストを実施する

「映像音声テスト」(メニュー)を押し、「設定」→「ヘルプ」)で、テレビ本体の映像や音声に異常があるかご確認ください。(異常がある場合は、その状況をお問い合わせの際にお知らせください。)

5 問い合わせる

お買い上げの販売店または、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

- 本機がお手元のない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。

電源 / リモコンのトラブル

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか? (→24)
- リモコンの場合は、本体の電源が「入」になっていますか? (→25)

リモコンで操作できない

- 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか? (→9)
- リモコン受信部に向けて操作していますか? (赤外線通信時) (→25)
- リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか? (赤外線通信時) (→25)
- 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。(→25)
- リモコンモードが違っていませんか? (→27)
- 音声で操作する場合は、リモコンをテレビ本体に登録(ペアリング)していますか? (→24)

● 解決できない場合は、リモコンの登録(ペアリング)を解除し、再度登録してください。

- (1) 音量と(決定)を同時に3秒間押し続ける
- (2) リモコンをリモコン受信部(→25)に向け、リモコンの登録を解除する(メニュー)を押し、「設定」→「機器設定」→「設置設定」→「リモコン設定」→「リモコン登録解除」)
- (3) リモコンを再度登録する(上記手順(2)の「リモコン設定」のあとに、「リモコン登録」を選ぶ)

テレビ放送について

4K 放送が映らない

- 「SH マーク」が表示された機器など、4K 放送に対応した機器が必要です。(→18、19)
- 4K 放送非対応の録画機器を経由してテレビ本体に接続している場合は、分配器を使って、4K 放送の信号を直接テレビ本体に入力してください。(→19)
- BS・110度CSアンテナを左旋円偏波対応のアンテナに交換した場合は、かんたん設置設定をやり直し、受信チャンネルを再設定しないと受信できません。(→28)

すべてのテレビ放送が映らない

- ACAS チップが故障している可能性があります。以下の操作で「ACAS チップテスト」を行ってください。
 (メニュー) を押し、「設定」→「機器設定」→「設置設定」
- 「異常が検出されました」と表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 「正しく終了しました」と表示された場合は、接続や設定をご確認ください。(→18、19、29)

BS・110度CSアンテナの種類の設定に時間がかかる場合がある

- 設置環境に合わせたチャンネルを選局するため、スキャンを実施していますので時間がかかる場合があります。

本体の電源ランプが赤色点滅する場合

電源ランプが赤色点滅する

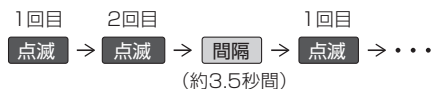
(リモコンを操作していないとき)

- 画面が消え、本体の電源ランプが赤色点滅する場合、何らかのトラブルが発生した可能性があります。点滅回数をご確認いただき、お買い上げの販売店または、相談窓口までご相談ください。(→43)

点滅回数の数え方：

例) 2 回のとき

2 回点滅し、約 3.5 秒間消灯したあと、再度点滅を繰り返します。



よくあるお問い合わせ

有料放送が視聴できなくなった

- ACAS 番号をご確認のうえ、受信契約先へお問い合わせください。(→43)

B-CAS カードが同梱されていない

- 本機は従来の B-CAS カードに代わり、「ACAS チップ」が内蔵されていますので、B-CAS カードは同梱していません。(→29)

HDMI 端子で接続した機器を再生したとき、映像や音声が入りません

- 入力切替ボタンで機器を接続している HDMI 入力に切り換え、「HDMI 音声入力設定」(メニュー) を押し、「設定」→「音声調整」や「HDMI オート設定」(メニュー) を押し、「設定」→「機器設定」の設定を確認・変更してください。(→20)

接続した HDMI 対応機器の音声がでない

- 接続機器の音声出力をリニア PCM「PCM」に設定してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

以下の場合、故障ではありません

液晶パネル特有の現象により、画面に赤、青または緑の点が発生する場合があります

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99 パーセント以上の有効画素がありますが、0.01 パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

液晶パネルとキャビネットの間には隙間がありますまた、液晶パネルを押すと動いたり、「カタカタ」と音がする場合があります

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります

- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットが僅かに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。

テレビ本体の温度が高くなる部分があります

- 本機をご使用中に、テレビ本体のパネル面やキャビネット、アンテナ接続端子など、温度が高くなる部分がありますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

リモコンを操作していないときに電源ランプが緑色点滅することがあります

- 本体の電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅しますが、故障ではありません。

Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続し、再生すると音声の遅延が発生します

- 無線技術の特性により映像と音声再生において遅延が発生しますが、故障ではありません。

取り扱いについて

お手入れについて

テレビ本体およびリモコン

お手入れをするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 化学薬品が使われていない、乾いた柔らかい布（綿・ネル地・クリーニングクロスなど）でふいてください。かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- 汚れがひどいときは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤に浸した布を、かたく絞って軽くふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 市販のクリーニングクロス（テレビ用）をご使用の際、以下の成分*などが記載されているものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
- ゴムやビニール製品などは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、長時間接触させないでください。
- スプレー洗剤などは、液体が内部に入ると故障の原因になりますので、直接かけないでください。

設置するとき

直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。

本機を設置するとき

- スタンドの取り付けは、安全に作業するために、指定の手順以外では行わないでください。パネル内部の破損の原因となります。
- 必ず2人以上で行ってください。
- スタンドを取り付けたあとに、必ず転倒・落下防止処置をしてください。(→10～15)

機器相互の干渉に注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などを避けます。
- 本機は無線LANを内蔵しており、コードレス電話などと干渉する場合がありますのでご注意ください。

接続は電源を「切」にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。（オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器など）

本機を移動するとき

- パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。
- 必ず2人以上で行ってください。

アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くになったら、お買い上げの販売店にご相談ください。

良好な画面で見えるために

- アンテナケーブルは、同軸ケーブルをご使用ください。

包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。
- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。
- 必ず2人以上で安定した体勢で運搬してください。

取り扱いについて (続き)

ご使用になるとき

適度の音量にして隣近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をお勧めします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度(4K映像は約1.5倍程度)、また新聞が楽に読める明るさでご視聴ください。

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります

そのままご使用になると故障の原因になります

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。(約2～3時間)
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所(湯気が立ち込めている場所など)には設置しないでください。

虫の入りやすい場所で使用しない

- 内部にクモやアリなどが侵入すると、故障の原因になります。

硫黄や塩害の発生しやすい場所で使用しない

- 内部が腐食し、故障の原因になります。

リモコン、スマートスピーカー、スマートフォンなどでテレビの電源を制御する機能を使うときは、本機が見える位置から操作してください



- スマートフォンなどでかんたんミラーリング機能などを操作するとき、設定によっては、本機の電源が自動的に「入」になります。

ミラーリング対応端末について

お手持ちの端末のミラーリング機能については、端末の取扱説明書をご覧ください。また、製造元にお問い合わせください。ただし、ミラーリング機能対応端末との動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、iOSを採用した端末には対応しておりません。(2022年1月1日時点)

過去未来番組表を使うときの制限や条件について

過去未来番組表とは、ディーガやビエラで録画した過去の番組を本機の番組表にまとめて表示し、簡単に再生できる機能です。

- 過去未来番組表を利用するには、本機をインターネットに接続し、利用設定を行ってください。
- 設定方法についてはガイドの「過去未来番組表を使う」( を押し、  目的から探す > いろいろな機能) をご確認ください。
- 過去未来番組表に対応するディーガやビエラについては、サポートサイト(➔8)の動作確認情報でご確認いただけます。
- 番組表には、当日から最大30日前までの録画番組を表示できます。
- 録画当日の番組編成が急に変更された場合や、録画が中断された場合など、録画の状況によっては番組内容が正しく表示されないことがあります。
- 本サービスは第三者情報を使用しているため、当該提供者の都合により予告なくサービス内容・画面が変更・停止等する場合があります。

本機上で提供されるアプリについて

- アプリおよび音声サービスは提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- アプリおよび音声サービスの変更や終了に関わるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

損害について





- 本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、災害による情報の破損などについては補償いたしかねます。
- お客様が別途準備された外部機器については保証の対象外です。その機器に記録される情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いかねます。

液晶パネルについて

残像が発生する場合があります

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

お客様の情報の取り扱いについて

- 本機のインターネット接続機能をご利用いただく場合、当社は、当社のサービス利用規約・プライバシーポリシー（以下規約等といいます）に同意をいただいたうえで、当該規約等に従い、お客様による本機の利用に関する情報を収集し、利用させていただく場合があります。
- サービス利用規約・プライバシーポリシーの内容については、ガイドの「サービス利用規約 / 設定」（ を押し、 目的から探す > 各種設定 > ネットワーク設定 > その他の設定）をご確認ください。
- 放送事業者やアプリ提供事業者により、本機にお客様の設定が記録される場合があります。本機を修理・譲渡または廃棄される場合には、本機に記録されている情報をすべて消去してください。
消去方法については、ガイドの「お買い上げ時の設定に戻す」（ を押し、 目的から探す > いろいろな機能）をご確認ください。
- 本機上で第三者が提供するアプリやウェブサイトを通じて、提供事業者がお客様の情報を収集する場合があります。提供事業者の規約等を事前にご確認ください。
 - 第三者が提供するアプリやウェブサイトを通じたお客様情報の収集・利用について、当社は責任を負いません。
 - クレジットカードの番号や氏名などのお客様の情報を入力するときは、提供事業者が信用できるか十分注意してください。
 - 登録した情報は、提供事業者のサーバ等に登録される場合があります。本機を修理・譲渡または廃棄される場合は、提供事業者の規約等に従って消去してください。

ソフトウェアの自動ダウンロード

ソフトウェアの自動更新機能

本機は、本機に含まれるソフトウェアにより制御され、動作します。

本機をご購入後、不良・不具合の修正・予防、機能の追加・変更、快適なご利用環境の提供等のため、当社の判断で、本機に含まれるソフトウェアを更新することがあります。

本機は、地上デジタル放送や衛星デジタル放送の放送電波により送られてくる更新用のソフトウェアを自動でダウンロードし、本機に含まれるソフトウェアを自動で更新する機能を有しています。

更新用のソフトウェアがある場合、電源プラグを電源コンセントから抜かず差したままの状態にしておくと、放送電波経由で、更新用のソフトウェアが自動でダウンロードされ、本機に含まれるソフトウェアが自動で更新されます。



ソフトウェアの自動ダウンロードは、以下の場合には行われません。

- 電源プラグを電源コンセントから抜いているとき
- 本体の電源「入」「切」ボタンで電源「切」のとき
- 番組を視聴しながら、2番組を同時にUSB機器に録画中のとき

また、ソフトウェアの更新中に、電源プラグを電源コンセントから抜いたり、本体の電源「入」「切」ボタンで電源「切」にすると、ソフトウェアの更新が正常に行われない可能性があります。

ソフトウェアの更新により、本機の機能が変更・削除等される可能性があります。

ソフトウェアの更新情報は、サポートサイト（→8）に掲載しています。

- ソフトウェアの自動ダウンロードの設定を変更するときは、ガイドの「放送ダウンロード予約の方法を設定する」（ を押し、 目的から探す > いろいろな機能 > ソフトウェアの更新）をご確認ください。

取り扱いについて (続き)

無線 LAN/Bluetooth® 使用上のお願い

使用周波数帯

無線LANは2.4 GHz帯と5 GHz帯、Bluetooth®は2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。

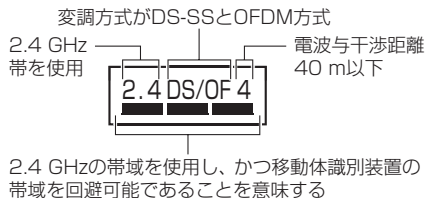
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

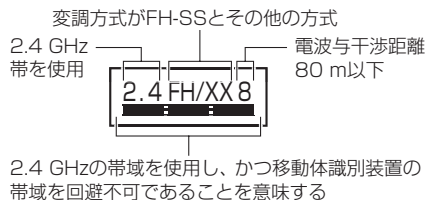
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、VIERA (ビエラ) ご相談窓口(裏表紙に記載)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙のVIERA (ビエラ) ご相談窓口へお問い合わせください。

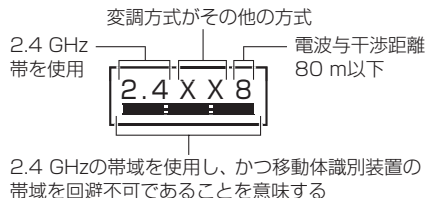
無線 LAN の周波数表示の見かた (本機裏面に記載)



Bluetooth® の周波数表示の見かた (本機裏面に記載)



(リモコンの電池挿入部のふた内部に記載)



機器認定

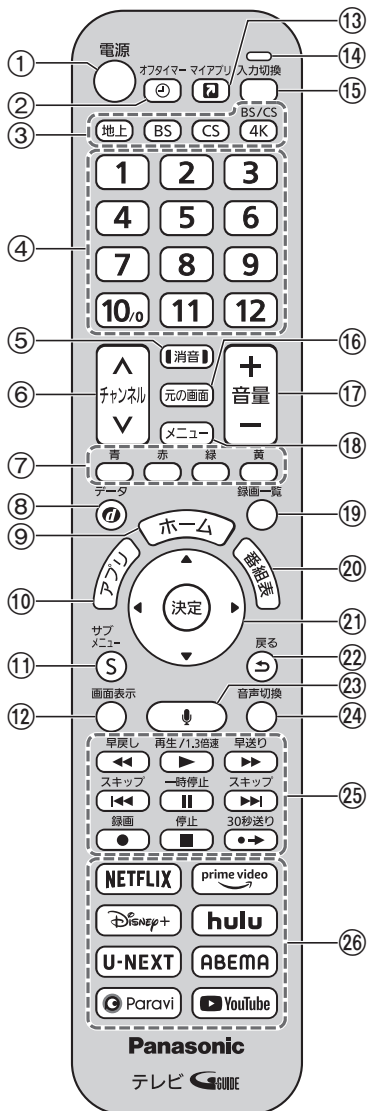
本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解/改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべてのBluetooth®機能対応機器とのBluetooth®無線通信を保証するものではありません。
- すべての使用環境で無線LAN接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

Remote Control



- ① Switches TV On or Off (Standby).
- ② Sets the time for the TV to automatically turn off. (Press the button to select the time.)
- ③ Switches broadcast services.
- ④ Selects a channel directly.
Inputs characters.

- ⑤ Use this button to temporarily mute the sound. (Press again to cancel.)
 - ⑥ Selects a channel in order.
 - ⑦ Used for the selection and operation of various functions. (colored buttons)
 - ⑧ Accesses the broadcast data service / Hybridcast.
 - ⑨ Displays the home screen.
 - ⑩ Displays the applications list.
 - ⑪ Displays the sub menu.
 - ⑫ Displays the title of the program, etc.
 - ⑬ Assigns a favourite application.
When pressing this button for the first time, the setting screen will be displayed.
Follow the setting screen to assign a favourite application.
 - ⑭ Operates with the voice control microphone.
 - ⑮ Switches to external input. (DIGA, DVD player, etc.)
 - ⑯ Returns to the broadcasting screen.
 - ⑰ Adjusts the volume. (Volume bar appears at the bottom of the screen.)
 - ⑱ Displays the menu.
 - Displays the menu number of this TV.
 - Press **Enter**, select [Main Menu], and press **決定**. (Displayed on the lower left of the screen.)
 - Displays the voice guidance setting. (Press and hold for about 3 seconds.)
 - ⑲ Displays the recorded program list.
 - ⑳ Displays the electronic program guide.
 - ㉑ Makes selections, adjustments and choices on the screen.
-
- ㉒ Returns to the previous screen.
 - ㉓ Used for the voice control function. (Voice control button)
 - Voice control function is available only in Japanese.
 - Google Assistant is not available in certain languages and countries.
 - Amazon Alexa is not available in certain languages and countries.
 - ㉔ Switches audio to bilingual broadcast, etc.
 - ㉕ Operates the connected equipment (DIGA, content of USB HDD, etc.).
 - ㉖ Connect to the internet to access these services.*
Netflix, Prime Video, Disney+, Hulu, U-NEXT, ABEMA, Paravi, YouTube

* A broadband network environment is required.

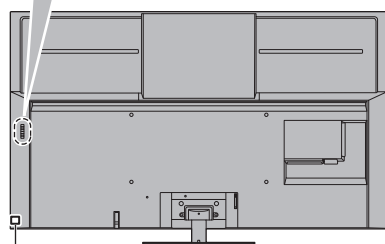
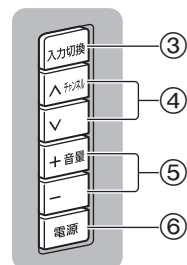
Indicator / Control panel



Remote control signal receiver

Range of operation :
Within about 30° to
the left and right.
Within about 20°
above and below.

① ②



Model number and serial number

① Power indicator

Lights green: On

Depending on the ambient brightness, adjusts the brightness of LED to easy-to-view levels automatically.

Blinks green: The TV is starting up.

Lights red: Standby

Lights orange: Standby with some functions*

No light: Off

* Blinks when the power indicator is on and the infrared signal is received from the remote control.

※ While recording is in progress, timer recording is in standby, the power-on timer is running, etc.

② Remote control signal receiver (for infrared communication)

Face the remote control at this part to control when switching the TV On or Off, or when controlling when the remote control has not been registered (paired).

Ambient sensor

This can automatically optimize the picture quality for the brightness and color temperature of the viewing environment. Set [Auto Brightness] and [Auto White Balance] (press **[OSD]**, then go to [Main Menu] → [Picture] → [Ambient Sensor Settings]) to [On] to use this function.

③ Input selection

Press repeatedly to select the desired input.

Menu

Press and hold this button to display / hide the menu.

Enter (when in menu operation)

④ Channel Up / Down

Selects a channel in order.

Cursor Up / Down (when in menu operation)

⑤ Volume Up / Down

Adjusts the volume.

Cursor Left / Right (when in menu operation)

⑥ Main power On / Off switch

Power indicator lights up green when the main power is turned on, and the remote control can be used.

Changing language for on-screen display

You can change the language (English or Japanese) with the following steps.

● Some texts are displayed in Japanese even after setting.

(1) Display the menu with **[OSD]**.

(2) Select [Main Menu] (when the current setting is Japanese : [設定]) and press **[決定]** to access.

(3) Select [Setup] (when the current setting is Japanese : [機器設定]) and press **[決定]** to access.

(4) Select [言語 / Language] and press **[決定]** to access.

(5) Select [OSD Language] (when the current setting is Japanese : [OSD 言語]) and press **[決定]** to access.

(6) Select the language and press **[決定]** to store.

仕様

テレビ本体

品番

TH-75LX950
TH-65LX950
TH-55LX950

種類

4K 液晶テレビ

表示パネル

液晶パネル、LED バックライト、IPS 方式

受信可能放送

地上デジタル放送 (ISDB-T)

- 周波数変換パスルー方式対応
- BS・110 度 CS 放送 (ISDB-S)
- BS4K・110 度 CS4K 放送 (ISDB-S3)
- 8K 放送は受信できません。

受信機型サイズ

TH-75LX950	: 75V
TH-65LX950	: 65V
TH-55LX950	: 55V

消費電力

TH-75LX950	: 359 W
TH-65LX950	: 232 W
TH-55LX950	: 205 W

本体電源「切」時 約 0.2 W

リモコンで電源「切」時 約 0.3 W*

※ 機能待機中 (リモコンで電源「切」時の録画中など) は約 20 W

- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。上記の電力を消費します。

年間消費電力量

TH-75LX950	: 255 kWh/年
TH-65LX950	: 176 kWh/年
TH-55LX950	: 157 kWh/年

- 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間 (5.1 時間) を基準に算出した、一年間に消費する電力量です。

区分名

c (4K 以上液晶テレビ)

- 区分名とは：省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

画素数

水平 3840 × 垂直 2160

画面寸法

TH-75LX950 :
幅 165.0 cm × 高さ 92.8 cm
対角 189.3 cm

TH-65LX950 :
幅 142.8 cm × 高さ 80.4 cm
対角 163.9 cm

TH-55LX950 :
幅 121.0 cm × 高さ 68.0 cm
対角 138.8 cm

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

TH-75LX950 :
168.0 cm × 104.4 cm × 35.0 cm (スタンド含む)
168.0 cm × 97.4 cm × 7.6 cm (本体のみ)

TH-65LX950 :
145.1 cm × 89.1 cm × 30.3 cm (スタンド含む)
145.1 cm × 84.0 cm × 7.3 cm (本体のみ)

TH-55LX950 :
123.1 cm × 76.7 cm × 30.3 cm (スタンド含む)
123.1 cm × 71.6 cm × 7.3 cm (本体のみ)

質量

TH-75LX950 :
約 52.5 kg (スタンド含む)
約 45.0 kg (本体のみ)

TH-65LX950 :
約 32.5 kg (スタンド含む)
約 29.0 kg (本体のみ)

TH-55LX950 :
約 22.5 kg (スタンド含む)
約 19.0 kg (本体のみ)

使用電源

AC 100 V 50/60 Hz

音声実用最大出力

スピーカー：イネーブルドスピーカー 2 個、
フルレンジ 2 個
60 W (15 W + 15 W + 15 W + 15 W) JEITA

仕様 (続き)

接続端子

ビデオ入力端子

映像: 1 V[p-p] (75 Ω)

音声: 左・右 0.5 V[rms]

HDMI 入力端子

4 系統

本機はピエラリンク(HDMI) Ver.5 に対応しています。

TH-75LX950 :

- HDMI 1 端子
4K120 Hz/VRR(バリアブルリフレッシュレート)/AMD FreeSync™ Premium に対応しています。
- HDMI 2 端子
4K120 Hz / VRR (バリアブルリフレッシュレート) / AMD FreeSync™ Premium / eARC (エンハンスドオーディオリターンチャンネル) / ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応しています。

TH-65LX950 | **TH-55LX950** :

- HDMI 1 端子
4K120 Hz に対応しています。
- HDMI 2 端子
4K120 Hz / eARC (エンハンスドオーディオリターンチャンネル) / ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応しています。

光デジタル音声出力端子

- 18 dBm 660 nm

LAN 端子

10BASE-T/100BASE-TX

ヘッドホン/イヤホン/サブウーハー出力端子

φ3.5 mm ステレオミニジャック

16 ~ 32 Ω 推奨

USB 端子

3 系統

- USB 1 端子 (録画用) :
DC 5 V MAX 900 mA
スーパースピードUSB (USB3.0) に対応しています。
- USB 2、3 端子 (AV 周辺機器用) :
DC 5 V MAX 500 mA
ハイスピードUSB (USB2.0) に対応しています。

アンテナ受信入力端子

● 地上デジタル入力

90 MHz ~ 770 MHz (VHF: 1 ~ 12 CH, UHF:

13 ~ 62 CH, CATV: C13 ~ C63 CH)

75 Ω

● BS・110度CS デジタル - IF 入力

右旋: 1032 MHz ~ 2071 MHz (IF 入力周波数)

左旋: 2224 MHz ~ 3224 MHz (IF 入力周波数)

75 Ω

電源供給: DC 15 V 出力 (最大 4 W)

動作使用条件

周囲温度: 0 °C ~ 40 °C

相対湿度: 20 % ~ 80 % (結露なきこと)

無線 LAN

準拠規格

IEEE802.11a/n/ac : 5 GHz 帯

- 従来の 11a(J52) のみの対応機器とは接続できません

IEEE802.11b/g/n : 2.4 GHz 帯

セキュリティ

WPA3-SAE(AES)

WPA2-PSK(TKIP/AES)

WPA-PSK(TKIP/AES)

WEP(64bit/128bit)

Bluetooth®

準拠規格

Bluetooth® 5.0 : 2.4 GHz 帯

対応プロファイル (Bluetooth® 通信の接続手順を製品の特長ごとに標準化したもの)

HID

HOGP

A2DP*

AVRCP

* 対応コーデック: SBC

リモコン

使用電源

DC 3 V (単 4 形マンガン乾電池 2 個)

質量

約 134 g (付属の乾電池含む)

操作距離

約 7 m 以内 (テレビ正面距離)

- 使用する環境などによっては正しく動作しないことがあります。

- 本機に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

== DC (直流)

□ クラス II 機器 (二重絶縁構造)

お知らせ

- このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- テレビの V 型 (75V 型 / 65V 型 / 55V 型) は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理などは…

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	お買い上げ日	年	月	日
電話 () -	ACAS番号*			

※ ACAS 番号をご確認のうえ、記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

● 以下の操作で、本機の画面に ACAS 番号を表示することができます。

(1) を押して「設定」を選び、 を押す

(2) 「機器設定」を選び、 を押す

(3) 「システム設定」を選び、 を押す

(4) 「ACAS チップ」を選び、 を押す

表示された「ACAS 番号」をご確認ください。

● ACAS チップが故障した場合には、部品交換修理により ACAS 番号が変わります。その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更連絡してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(→32～34) と、ピエラ操作ガイドの「困ったときは / よくあるご質問」に従ってご確認いただいても直らない場合は、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

● 製品名 4K 液晶テレビ

● 品番 TH-75LX950

TH-65LX950

TH-55LX950

お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様／保証とアフターサービス

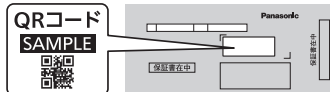
必要なとき

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書のQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。



お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!？」(→32～34)と、ビエラ操作ガイドの「困ったときは / よくあるご質問」をご確認ください。(ビエラ操作ガイドの使い方は(→2))
解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



？ VIERA (ビエラ) 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル バナは キュウハチイチ 受付時間
0120-878-981 9:00～18:00 (年中無休)

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

🔧 修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル バナは イイヨ
0120-878-554

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 **03-6633-6700**



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を!

テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。



こんな症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

廃棄時にご注意
願います!

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2022